



2025年5月期 第3四半期決算短信（日本基準）（非連結）

2025年4月10日

上場会社名 メディアファイブ株式会社
コード番号 3824 URL <https://www.media5.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
(氏名) 河野 活
(氏名) 川上 隆幸
TEL 092-762-0555

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期第3四半期の業績 (2024年6月1日～2025年2月28日)

(％表示は、対前年同四半期増減率)									
	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	％
2025年5月期第3四半期	1,293	—	28	—	63	—	55	—	—
2024年5月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
2025年5月期第3四半期	59.47		—	
2024年5月期第3四半期	—		—	

(注) 当社は、2025年5月期第3四半期から非連結での業績を開示しております。
そのため、2025年5月期第3四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年5月期第3四半期	604	369	61.2
2024年5月期	643	313	48.8

(参考) 自己資本 2025年5月期第3四半期 369百万円 2024年5月期 313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年5月期	—	0.00	—		
2025年5月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年5月期の業績予想 (2024年6月1日～2025年5月31日)

(％表示は、対前期増減率)									
	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,765	2.1	10	13.1	44	849.4	37	—	39.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年5月期3Q	986,000 株	2024年5月期	986,000 株
② 期末自己株式数	2025年5月期3Q	46,000 株	2024年5月期	46,000 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年5月期3Q	940,000 株	2024年5月期3Q	940,000 株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社は、2024年12月2日付で連結子会社であった株式会社匠工房の全株式を譲渡いたしました。これにより、当第3四半期会計期間より非連結決算に移行したことから、従来連結で行ってございました開示を単体での開示に変更いたしました。なお、当第3四半期累計期間は非連結決算初年度にあたるため、前年同四半期の数値及びこれに係る前年同四半期増減率等の比較分析は行っておりません。

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要により、国内景気は引き続き緩やかな回復傾向が継続しております。一方で、海外紛争の長期化による資源価格の高騰、世界的な物価上昇、金融資本市場の変動等、経済活動に急激な影響を与える要因が払拭されておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する情報サービス業界においては、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）に対する投資需要は継続しており、社会全体としてIT活用の流れが一層増加し、慢性的にIT人材が不足している状況にあります。

このような環境の中、当社では、2024年3月に東京支店を銀座から秋葉原へ移転し、人材確保・育成のための先行投資として2024年3月にITエンジニア育成研修の拡大を目指し、「アキバ・テックドリーム・アカデミー」を開校、未経験者や新規学卒者を積極的に採用し、育成に注力しております。また、技術力の向上、ワークライフバランスの向上を図ることで、優秀な人材の囲い込みを図っております。加えて子育て世代の両立支援をはじめ、誰もが働きやすい職場づくりの一環として「メディアファイブ保育園薬院」の運営も行っており、地域貢献度の向上にも寄与しております。

主要事業であるSES事業は、ITエンジニアの需要が高まっていることを背景として、新規取引先の獲得及び既存取引先における契約単価交渉を行ってまいりました。

ソリューション事業は、前事業年度に引き続き、安定的にシステム開発案件を受注しております。引き続き、中小企業のITを支援する「OFFICE DOCTOR」サービスを軸にワンストップ型ソリューション提案を推し進めております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,293,084千円、売上総利益465,338千円、営業利益28,349千円、経常利益63,377千円、四半期純利益55,904千円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。）

なお、連結子会社であった株式会社匠工房の全株式を2024年12月2日に譲渡したことに伴い、これまで「SES事業」「ソリューション事業」及び「工事関連事業」の3区分としていた報告セグメントは、当第3四半期会計期間から「SES事業」「ソリューション事業」の2区分としております。

①SES事業

主要事業であるSES事業は、高度IT人材の育成、技術力向上に注力するとともに、取引先への契約単価交渉や戦略的な配置転換を行ってまいりました。その結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,136,944千円、セグメント利益は255,088千円となりました。

②ソリューション事業

ソリューション事業は、前事業年度に引き続き、中規模・小規模のシステム開発案件の受注、中小企業のITを支援する比較的ライトな「OFFICE DOCTOR」サービスの提供を安定的に行っております。また、今後の業容拡大を目指し営業活動に注力してまいりました。その結果、当第3四半期累計期間における売上高は156,139千円、セグメント利益は41,550千円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産・負債・純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は604,663千円（前事業年度末は643,323千円）、うち流動資産476,561千円（同488,380千円）、固定資産128,101千円（同154,943千円）となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金299,290千円（同302,146千円）、売掛金152,068千円（同145,375千円）、前払費用12,633千円（同14,636千円）等であります。固定資産については、有形固定資産17,309千円（同17,276千円）、無形固定資産14,099千円（同9,716千円）、保険積立金19,530千円（同19,530千円）、敷金及び保証金36,426千円（同49,661千円）、繰延税金資産31,681千円（同39,839千円）等であります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は234,784千円（同329,349千円）、うち流動負債144,064千円（同224,589千円）、固定負債90,720千円（同104,760千円）となりました。

その主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金18,720千円（同18,720千円）、未払金13,107千円（同18,312千円）、未払費用20,699千円（同122,128千円）、未払消費税等25,758千円（同26,616千円）、賞与引当金36,024千円（前事業年度末の計上なし）、預り金19,304千円（同19,632千円）等であります。固定負債については、長期借入金90,720千円（同104,760千円）であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は369,878千円（同313,974千円）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月期の業績予想につきましては、2025年1月9日付の「2025年5月期第2四半期（中間期）の業績予想と実績値との差異及び非連結決算への移行に伴う通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	302,146	299,290
売掛金	145,375	152,068
仕掛品	15,229	2,640
貯蔵品	255	239
未収入金	7,854	5,111
前払費用	14,636	12,633
未収還付法人税等	—	9
その他	3,560	5,193
貸倒引当金	△678	△625
流動資産合計	488,380	476,561
固定資産		
有形固定資産	17,276	17,309
無形固定資産	9,716	14,099
投資その他の資産		
関係会社株式	8,450	—
長期前払費用	2,212	1,996
保険積立金	19,530	19,530
敷金及び保証金	49,661	36,426
従業員に対する長期貸付金	2,243	1,043
繰延税金資産	39,839	31,681
その他	6,014	6,014
投資その他の資産合計	127,951	96,692
固定資産合計	154,943	128,101
資産合計	643,323	604,663
負債の部		
流動負債		
買掛金	667	1,776
1年内返済予定の長期借入金	18,720	18,720
未払金	18,312	13,107
未払費用	122,128	20,699
未払法人税等	9,610	—
未払消費税等	26,616	25,758
賞与引当金	—	36,024
契約負債	8,020	7,611
預り金	19,632	19,304
その他	880	1,060
流動負債合計	224,589	144,064
固定負債		
長期借入金	104,760	90,720
固定負債合計	104,760	90,720
負債合計	329,349	234,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	198,925	198,925
資本剰余金	164,625	164,625
利益剰余金	△40,752	15,151
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	313,974	369,878
純資産合計	313,974	369,878
負債純資産合計	643,323	604,663

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
売上高	1,293,084
売上原価	827,745
売上総利益	465,338
販売費及び一般管理費	436,989
営業利益	28,349
営業外収益	
受取利息	117
受取配当金	40,000
保育事業収益	41,739
雑収入	1,206
営業外収益合計	83,063
営業外費用	
支払利息	1,205
保育事業費用	41,427
地代家賃	5,402
営業外費用合計	48,035
経常利益	63,377
特別利益	
関係会社株式売却益	1,550
特別利益合計	1,550
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税引前四半期純利益	64,927
法人税、住民税及び事業税	865
法人税等調整額	8,158
法人税等合計	9,023
四半期純利益	55,904

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当第3四半期累計期間(自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	S E S 事業	ソリューション 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,136,944	156,139	1,293,084
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,136,944	156,139	1,293,084
セグメント利益	255,088	41,550	296,639

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	296,639
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△268,289
四半期損益計算書の営業利益	28,349

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

連結子会社であった株式会社匠工房の全株式を譲渡したことに伴い、これまで「S E S 事業」「ソリューション事業」及び「工事関連事業」の3区分としていた報告セグメントは、当第3四半期会計期間より「S E S 事業」「ソリューション事業」の2区分に変更しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
減価償却費	5,338千円